

山吹の里歴史公園(入間郡越生町)

ここが太田道灌ゆかりの地、山吹の里







伝山吹やまぶきの里

所在地 越生町西和田

室町時代、太田道灌が川越の領主であったころの話である。道灌が父の道真を訪ねた折、このあたりでにわか雨にあったので、近くの農家に立寄り簀を借りようとした。すると一人の少女が出てきて、だまって山吹きの花をさし出した。

道灌は、山吹きの花にちなんだ古歌、「七重八重花は咲けども山吹きの 実の（簀） 一つだになきぞ悲しき」が考えつかず、少女の思いが分からずに恥をかき、のち大いに学問にも励み、文武両道を兼ねた名将といわれるようになったのだという。この話は広く知られており、「山吹の里」と称するゆえんである。

昭和三十七年に県指定旧跡となっている。

昭和五十九年三月

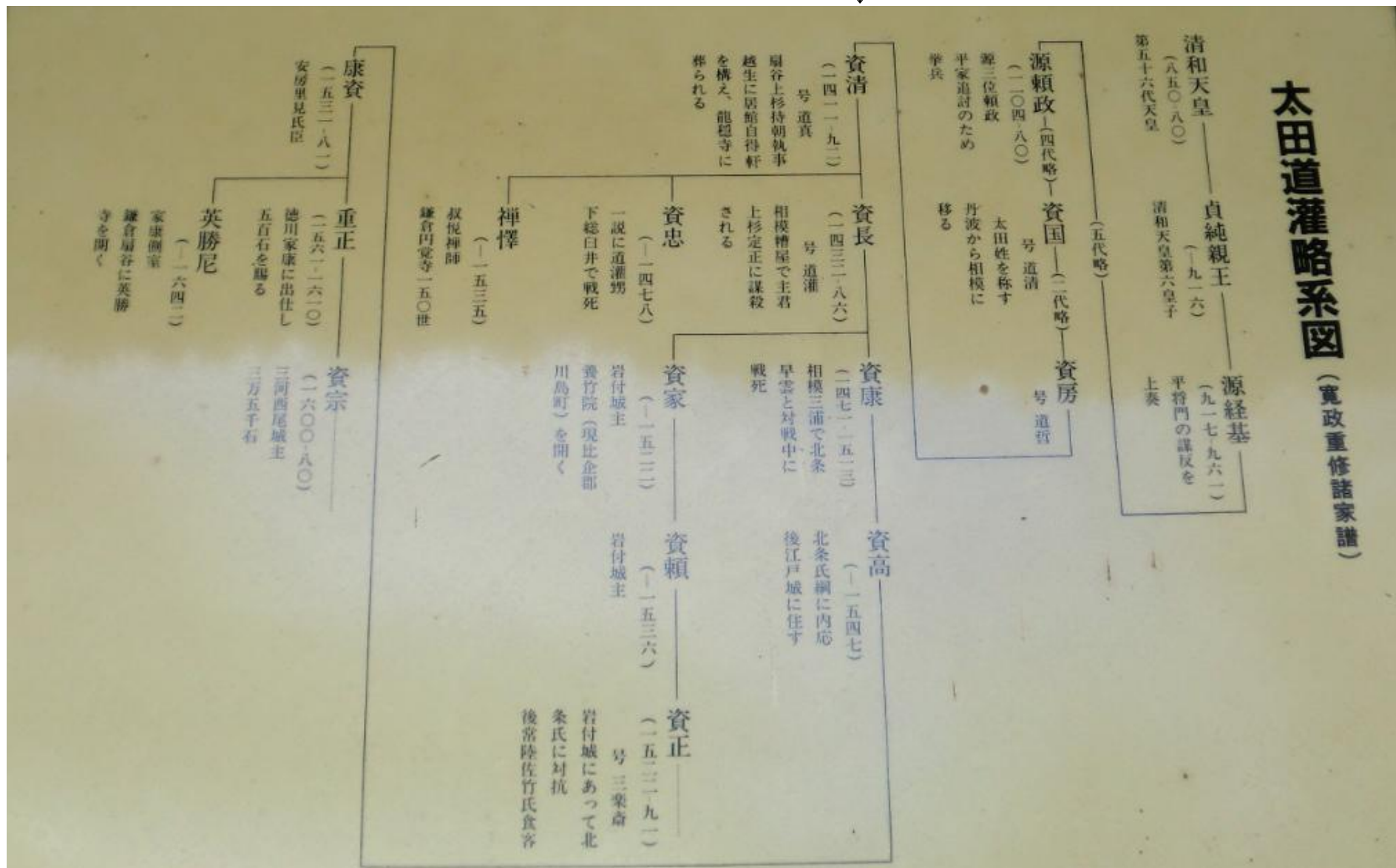
埼玉県



資清(太田道真)、資長(太田道灌)

太田道灌略系図

(寛政重修諸家譜)







ちょっとした小山が公園となっている



左手に案内地図板がある



前方の山の向こうが、自得軒砦跡など太田道真、道灌親子が居を構えていた地域





正面道路の突き当たりは越生駅



その左手方向



右手方向



下へ下りる









太田道灌関係略年譜

年号	西暦	事項
永享4	1432	太田道灌誕生、幼名鶴千代丸。父太田資清（道真）は扇谷上杉家の家宰
永享12	1440	鶴千代丸、鎌倉五山で勉学を始める。
文安3	1446	鶴千代丸、元服して資長と名乗る。
宝徳2	1450	4月、太田道真、鎌倉公方足利成氏軍を攻める（江ノ島合戦）。
康正元	1455	6月、足利成氏、鎌倉を去り古河に拠る（古河公方）。 12月、資長、太田家の家督を嗣ぐ。
長禄元	1457	4月、資長、江戸城を築き居城とする。 同年、河越（川越）城、岩付（岩槻）城構築なる。
長禄2	1458	資長、剃髪して道灌と号す。
寛正6	1465	この年、田代三喜、越生に生まれる。
応仁元	1467	5月、応仁の乱勃発
文明元	1469	太田道真、河越城で宗祇・心敬らと連歌会を催す（川越千句）。
文明4	1472	太田道真・道灌父子、泰叟妙康を招き、越生の龍穩寺を再興する。

文明6	1474	6月、道灌、心敬らを招き、江戸城で歌会を催す（江戸歌合）。
文明8	1476	3月、道灌、今川家の内紛鎮定のため駿河に出陣。この時、伊勢新九郎（後の北条早雲）に会う。
文明9	1477	1月、山内上杉顕定の臣長尾景春、顕定・太田道真らを武蔵 ^{いかつこ} 五十子（現本庄市）に襲う。 4月、道灌、武蔵江古田原及び石神井城に豊島泰経を攻め、これを破る。
文明10	1478	7月、道灌、長尾景春を鉢形城（現寄居町）に攻めて破る。
文明12	1480	1月、長尾景春、越生の太田道真を襲うも撃退される。
文明18	1486	6月、道灌、詩友万里集九を伴い父道真を越生の自得軒（現越生町小杉の建康寺）を訪ねる。 7月、道灌、相模糟屋（現神奈川県伊勢原市）で主君扇谷上杉定正に謀殺される（55歳）。
長享2	1488	7月、道灌三周忌 8月、万里集九、越生の龍穩寺に太田道真を訪ねる。
明応元	1492	2月、太田道真、越生に没する（81歳）。龍穩寺に葬られる。
明応3	1494	10月、上杉定正、上杉顕定と高見原（現小川町）で対戦中に病死する。
明応4	1495	9月、北条早雲、小田原城を奪う。

下から小山全体を見る





参考ホームページ

<http://hya34.sakura.ne.jp/iruma/yamabukinosato/yamabukinosato.html>

http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/57066828.html

<http://homepage3.nifty.com/youzantei/mitisirube/yamabukidensetu.html>